

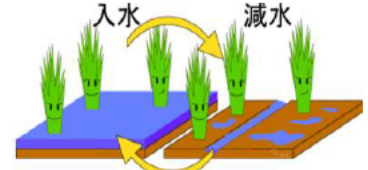
収穫までの水管理

1. 中干し後～幼穂形成期

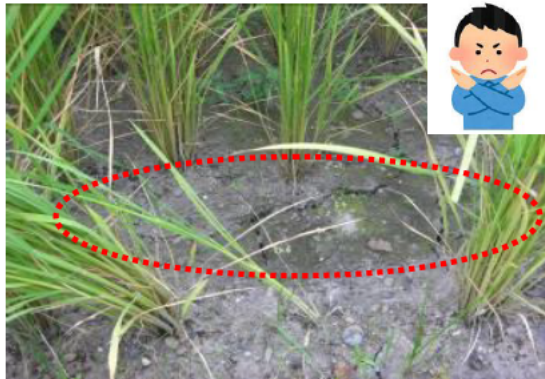
中干し後は間断通水を行いましょう。入水と落水を繰り返して酸素と水分を交互に供給することで、根の発育を促し、活力を維持します。出穂期以降の登熟を促すために確実に実施しましょう。また、この時期にうわ根を張らせることは倒伏防止にもつながります。

【間断通水とは？】

浅水程度に入水・減水を繰り返します。



高温時の湛水は根腐れしやすいので3日以上行わない



2. 幼穂形成期～出穂期

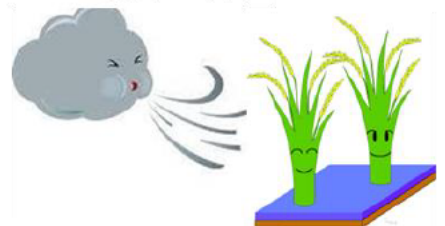
幼穂形成期以降も引き続き間断通水を継続しましょう。また、この時期は気温・水温ともに高いため、根の活力が低下する傾向となりますので、根腐れにも警戒しましょう。

稲の根量が最も多いのはこの時期であり、その後、徐々に減少していきます。根量を維持するため、断根を伴う深いヒビが入るような強い田干し行なわないようにしましょう。

3. 出穂期前後

出穂前後は水が最も必要な時期です。また出穂後は根の老化が始まるため、湛水管理を実施して葉色を保つことで登熟を順調に促し、白未熟粒を防止します。またフェーン現象などの強風が予想される場合は、茎葉からの水分蒸散を防ぐため、湛水管理を実施しましょう。

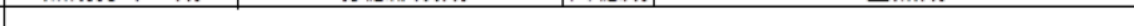
フェーン現象などの強風



湛水管理

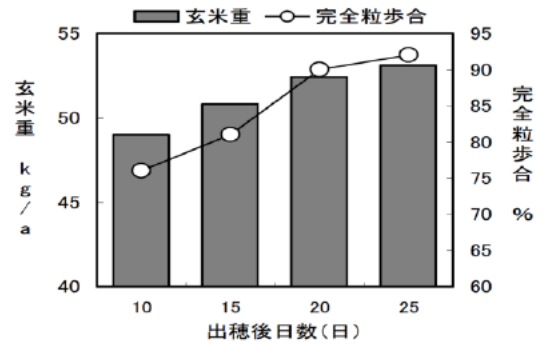
ハナエチゼン	水深	7月			8月			9月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	幼穂形成期	出穂期	登熟期				収穫期			
	水深5cm									
水深0cm	間断通水						収穫			

コ シ ヒ カ リ	水深	7月			8月			9月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
		無効分げっ期	幼穂形成期		出穂期	登熟期		収穫期		
水深5cm										
水深0cm										
	中干し	間断通水						収穫		

日本晴	水深	7月			8月			9月				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
	無効分げっ期		幼穂形成期			出穂期	登熟期				収穫期	
	水深5cm											
	水深0cm	中干し		間断通水								収穫

4. 刈り取り前まで

コンバイン作業のために早期落水をすると、未熟粒や胴割粒が増加する要因となり、収量・品質ともに低下します。足型に水が残る程度には水分を保ちましょう。美味しい米づくりのため刈り取り予定の3～5日前までは間断通水を実施しましょう。



落水開始時期と収量・品質(湿田)

病虫害防除

ラジコンヘリ防除

7月18日より各地にてラジコンヘリによる一斉防除が行われています。散布は引き続き実施されますのでご協力いただきますようお願いいたします。



【散布にあたってのお願い】

①散布中および散布直後は散布区域に立ち入らないでください。危険ですので興味本位で近づかないでください

②散布区域内にて散布している間は、洗濯物を屋内に入れ窓を閉めてください。

③万が一、身体に薬剤がかかった場合はすみやかにうがいをし、身体を石鹸で洗い流してください。

散布地域	今後の散布予定日		散布時間
大虫全域	7/31		午前5時～散布終了時
吉野全域 (芝原除く)	8/1	8/11	
国高 (横市・塚・高木・庄)	8/2		
神山 (池ノ上・岡本)	8/3		
北日野 (矢船・矢放・帆山・小野谷・畑・向新保)	8/3		
北日野 (西尾・庄田・荒谷・平林・西谷・大手・岩内・大屋・葛岡)	8/4		
味真野全域	8/6		
坂口全域	7/25	8/7	
白山全域 (安養寺除く)	7/25	8/7	
王子保 (大塚・森久・上小松・瓜生野・中平吹・白崎)	7/26	8/8	
北新庄全域	7/28	8/10	通勤通学時間帯、午前7時30分～8時30分までは一時休止します。
北新庄全域	7/29	8/11	
南条 (牧谷・上別所・関ヶ鼻)	7/25	8/4・13	
今庄	7/26～29	8/5～8・14～16	

※地区ごとの詳しい散布区域は JA 越前たけふ各支店にお問い合わせください。

【延期時の日程と注意事項】

- ① 天候不順の場合、当日の回復が見込める場合は散布時間を遅らせて散布します。
回復が見込めない場合は予備日や他地区の終了後に散布します。

※順延ではありませんのでご注意ください。

※散布日変更の場合は延期散布日前日の夕方に広報車にてお知らせいたします。



カメムシ防除

本年の斑点米カメムシの生育密度は平年並ですが、発生の多い箇所もあり、また雑草の多い水田ではすでに水田内への侵入も確認されています。ラジコンヘリ防除が実施されますが、仕上げ防除も行ない斑点米の発生を防ぎましょう。

【注意点】

- 粒剤で防除する場合は薬剤の散布時期に注意する
- 本田防除の際は畦畔も含めて防除する
- 雑草の多い水田や休耕田の周りは徹底して防除する
- 出穂7日前以降の草刈りは本田への侵入を助長するため行わない。
- 特裁はラジコンヘリ防除を含めて2回（所定の剤）しか防除できませんので注意しましょう。

【薬剤】MR ジョーカー粉剤 DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで
 アルバリン粉剤 DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで



主な斑点米カメムシと被害粒

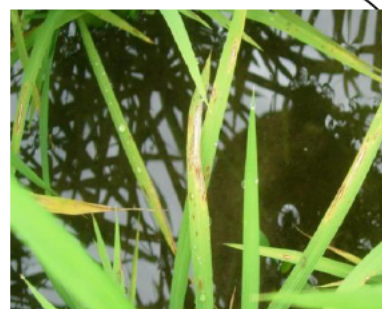
トゲシラホシカメムシ 体長4.5～6mm 	ホソハリカメムシ 体長15～17mm 		
アカヒゲホソミドリカスミ カメムシ 体長5～6mm 	アカスジカスミ カメムシ 体長4～5mm 		

いもち病の防除

本年の長期予報では夏場の雨が多くなる見込みです。
 このような年はいもち病が発生しやすくなるため注意しましょう。

【いもち発見時の防除対策】

- ① 病斑を発見した場合、直ちに防除
- ② ①の後にも新たに病斑があった場合は10日後に追加防除する
- ③ 葉いもちが多い圃場では穂肥の施用を控える
- ④ 出穂前に葉いもちが発生している圃場では穂ばらみ期と穂揃期に薬剤を散布する



【薬剤】ブラシン粉剤 DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで（特裁は不可）